

## 産業デジタルリスキリング推進事業Q&A

No.	質問内容	回答
1	・ 県が所有する広報手段を用いて本件講座を周知いただくことは可能でしょうか？ その場合、具体的にどのような広報手段が利用可能でしょうか？	はい。県としても、SNS（公式LINE、Facebook、X等）、県政番組、県政ラジオ 枠、新聞（県政掲示板）等を用いて周知を実施いたします。
2	・ 前期（昨年度）講座受講者の継続参加を前提としていますでしょうか？	いいえ。 昨年度講座受講者の継続参加は前提としておりません。 ※新規受講者、継続受講者共に参加可能です。
3	・ 受講者のレベル 宮崎県側で想定されている参加者様のDXへの取り組みの状況をご教授ください。 (聞いたことはある、実際に何らかの取り組みをすでに行っている等)	県内事業者における取組状況は様々であり、現状を問わず、幅広く参加いただきたい と考えております。 なお、参考までに当課で定めたデジタル人材育成のための取組指針をお示しします。  【産業におけるデジタル人材育成のための取組指針】 <a href="https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sangyoseisaku/kense/johotsushin/20240215165313.html">https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sangyoseisaku/kense/johotsushin/20240215165313.html</a>
4	・ 今回の事業は、DX化に取り組む企業を増やす目的、またはすでに取り組んでいる 企業のさらなるDX推進のどちらに重点を置いて講座を構成すべきかご教授くださ い。	県としましてはどちらに比重を置くといった考えはなく、両者共に必要であると考え ております。 実際の講座の構成といたしましては御社における考え等を踏まえご提案をお願いいた します。
5	・ 参加者は毎回同じ方と想定して講座を作って良いでしょうか。	はい。その想定で問題ございません。 ※連続講座という形式でお考えください。
6	・ 特に入れてほしい、事例・業種・職種等はあるか。	仕様書に記載している内容以外に指定はございません。

No.	質問内容	回答
7	<p>・昨年実施した本事業の、良かった点・課題点をご教授ください。(難易度、参加者様の企業で実際にDX化の取り組みを始めた等)</p>	<p><b>【良かった点】</b></p> <p>・講座実施後（約3ヶ月後）のアンケート（経営層向け）にて、実際に社内でデジタルツール導入を実施した企業が56.7%、導入に向けて調整中が16.7%と受講にとどまらず、実際に社内のデジタル化に向けて進んでいることが見て取れたこと。</p> <p><b>【課題点】</b></p> <p>・当初参加申込者数に対し、徐々に離脱者が出てしまうこと。</p>
8	<p>・広報は宮崎県のSNSアカウント(X、公式LINE等)で周知することが可能か。</p>	<p>はい。県としても、SNS（公式LINE、Facebook、X等）、県政番組、県政ラジオ枠、新聞（県政掲示板）等を用いて周知を実施いたします。</p> <p>※No.1同様。</p>
9	<p>・中間報告、最終報告の必ず必要な内容をご教授ください。</p>	<p><b>【中間報告】</b></p> <p>各層における申込者数、参加者数（各回毎）の他、受講者の反応等、事業実施状況の他、課題点および対策案・改善案などの分析結果をいただければと考えております。</p> <p><b>【最終報告】</b></p> <p>中間報告時の内容をベースに数値等をブラッシュアップいただくと共に、事業実施をとおしての課題及び翌年度に向けた改善案などをいただきたく存じます。</p>